

高校闘争資料集（ビラ、新聞など）

<北海道、東北>

- ①北海道札幌東高等学校（1971年）
- ②北海道小樽潮陵高等学校（1971年）
- ③北海道富良野高等学校（1970年）
- ④宮城県仙台第一高等学校（1974年）
- ⑤福島県立会津高等学校（1969年）
- ⑥福島県立磐城高等学校（1971年）
- ⑦福島県立磐城女子高等学校（1971年）
- ⑧福島県立福島女子高等学校（1970年）

<関東>

- ⑨埼玉県立熊谷高等学校（1969年）
- ⑩千葉県立千葉高等学校（1969年）
- ⑪千葉県立葉園台高等学校（1970年）
- ⑫東京都立青山高等学校（1970年）
- ⑬東京都立立川高等学校（1969年）
- ⑭東京都立文京高等学校（1969年）
- ⑮東京都立府中高等学校（1971年）
- ⑯東京都立神代高等学校（1970年）
- ⑰東京都立深沢高等学校（1972年）
- ⑱東京都立北高等学校（1969年）
- ⑲東京都立大森高等学校（1973年）
- ⑳東京都立南高等学校（1973年）
- ㉑東京都立目黒高等学校（1970年）
- ㉒都立大学附属高等学校（1972年）
- ㉓早稲田大学高等学院（1970年）
- ㉔神奈川県立横浜翠嵐高等学校（1969年）
- ㉕神奈川県立川崎高等学校（1970年）
- ㉖神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校（1969年）
- ㉗神奈川県立希望ヶ丘高等学校（1969年）
- ㉘神奈川県立小田原高等学校（1969年）

<北陸、甲信越、東海>

- ㉙新潟県立新潟高等学校（1969年＝新潟日報）
- ㉚新潟県立新発田高等学校（1970年）
- ㉛長野県長野高等学校（1969年＝信濃毎日）
- ㉜富山県立高岡高等学校（1969年）
- ㉝静岡県立静岡高等学校（1970年＝読売新聞静岡版）
- ㉞静岡県立掛川西高等学校（1969年）
- ㉟愛知県立旭丘高等学校（1969年）
- ㊱三重県立四日市高等学校（1969年）

<関西>

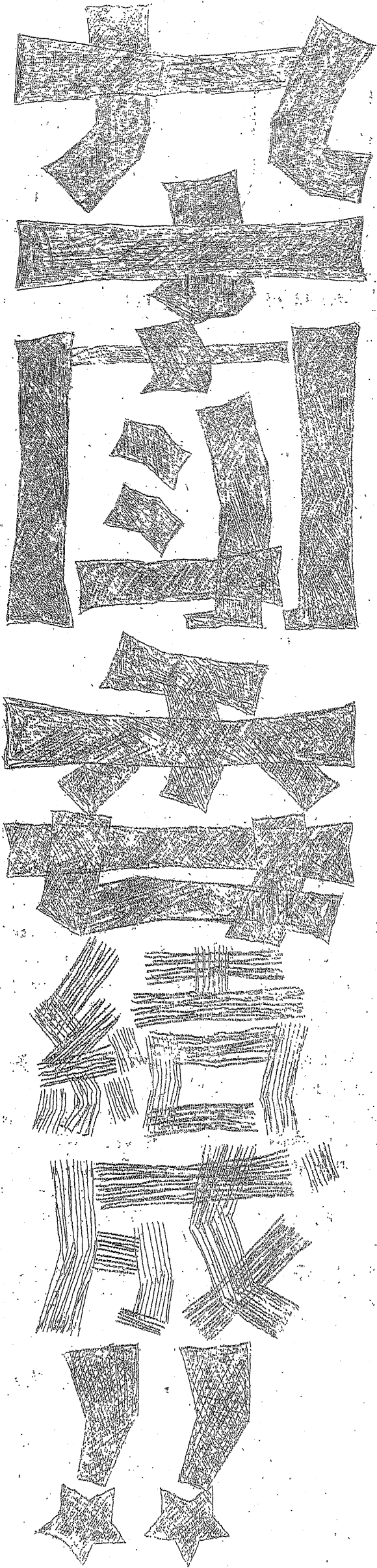
- ㊲京都府立鴨沂高等学校（1960年）
- ㊳京都府立西宮高等学校（1952年）
- ㊴大阪府立天王寺高等学校（1965年）
- ㊵大阪府立西高等学校（1969年2月）
- ㊶大阪府立天王寺高等学校（1971年）
- ㊷大阪府立東淀川高等学校（1969年）
- ㊸大阪府立国ヶ丘高等学校（1969年）
- ㊹兵庫県立陽学院高等学校（1971年）

<中国、四国、九州、沖縄>

- ㊺鳥取県立由良育英高等学校（1970年4月）
- ㊻広島県立広島学院高等学校（1969年）
- ㊼徳島市立高等学校（1970年）
- ㊽福岡県立小倉高等学校（1969年＝朝日新聞福岡版）
- ㊾長崎県立佐世保北高等学校（長崎新聞 1970年）
- ㊿琉球政府立首里高等学校（琉球新報 1970年）

『高校紛争1960～1970 「闘争」の歴史と証言』（小林哲夫、中公新書）の参考資料
<資料代 200円>

1月23日(拜) 各戦う部分は、卒団者結成
→ 同委員会へ結集せよ!!



☆我々は、与まされた、現教育の欺瞞性を暴露し告発するものである。

帝口主義的用編教育を断固粉碎し教育奪還闘争に勝利しよう。

☆学校当局は、先のと部省通達によりて卒業式を旧来の反動的なものでありしものとして、学校当局においては、只青葉マル改良主義者のさる自似ごとき表面的な改革をもって生徒を欺こうとしている。

学校当局は、学友会の反動的かつ表面的な卒業式を断固阻止しよう。

卒業式闘争委員会(拜)

書記局発行

斗争支援参加者も結集バツ!

共同戦線を構築せよ!!

①

①

潮陵新聞

号外

発行所
潮陵高等学校

職員会議決定の抗議

二年の部帽子焼く

9月29日、潮陵高等学校の職員会議が、二年生の部（体育部）の部帽子を焼くことを決定した。この決定は、部員たちから激しい抗議を招き、部員たちはこの決定を「部帽子を焼く」として、新聞上で報じられた。

部員たちは、この決定に対して、激しい抗議を表明した。彼らは、部帽子は部員の誇りを表しているものであり、焼くことは部員たちの心を傷つけるものであると主張している。

職員会議は、部帽子の焼くという決定を、部員たちの抗議にもかかわらず行った。これは、部員たちとのコミュニケーション不足と、部員たちの意見を尊重しない姿勢を示している。

部員たちは、この決定を「部帽子を焼く」として、新聞上で報じられた。これは、部員たちの気持ちを代弁した記事である。

職員会議は、部帽子の焼くという決定を、部員たちの抗議にもかかわらず行った。これは、部員たちとのコミュニケーション不足と、部員たちの意見を尊重しない姿勢を示している。

部員たちは、この決定を「部帽子を焼く」として、新聞上で報じられた。これは、部員たちの気持ちを代弁した記事である。

職員会議は、部帽子の焼くという決定を、部員たちの抗議にもかかわらず行った。これは、部員たちとのコミュニケーション不足と、部員たちの意見を尊重しない姿勢を示している。

部員たちは、この決定を「部帽子を焼く」として、新聞上で報じられた。これは、部員たちの気持ちを代弁した記事である。

部帽子焼く

今後

部帽子の焼くという決定は、部員たちから激しい抗議を招き、部員たちはこの決定を「部帽子を焼く」として、新聞上で報じられた。

部員たちは、この決定に対して、激しい抗議を表明した。彼らは、部帽子は部員の誇りを表しているものであり、焼くことは部員たちの心を傷つけるものであると主張している。

職員会議は、部帽子の焼くという決定を、部員たちの抗議にもかかわらず行った。これは、部員たちとのコミュニケーション不足と、部員たちの意見を尊重しない姿勢を示している。

部員たちは、この決定を「部帽子を焼く」として、新聞上で報じられた。これは、部員たちの気持ちを代弁した記事である。

部員たちは、この決定を「部帽子を焼く」として、新聞上で報じられた。これは、部員たちの気持ちを代弁した記事である。

部員たちは、この決定に対して、激しい抗議を表明した。彼らは、部帽子は部員の誇りを表しているものであり、焼くことは部員たちの心を傷つけるものであると主張している。

3

全学討論集会 に結集せよ!

日時… 本日 3:00 PM
 場所… 3年 4組
 要点… 現生徒会変革を中心に
 三項目について。

先日三項目要求闘争委員会(富良野高校有志)が全学討論集会を開くために集会規定に従い顧問教官として集会のスポンサーの認可を申し出たところ、三闘委は国共闘と関係があるとか、君達は学校の秩序をみたすなどといった理由によって又三闘委など学校側では認めないという理由で結局学校の規則にのって禁催しようとした討論会さえ、集会届を提出する前段階に於いて学校当局によって圧殺されたのである。

我々はここにおいてやむなくこのような集会を開くにいたった。討論集会を開きたいという我々の要求がまちがっているのか? 断じてまちがいはない。我々の当然の権利を圧殺する「集会規定」がまちがっているのだ。「ルールはルールだ」といって所々なある教師の欺瞞を暴露し我々にとって真の自治を確立するために断固この集会を打ち取ろう!!

再度、訴る 全学討論集会に結集せよ!!

三項目要求闘争委員会

3

④

学校当局の暴行
を憤然と糾弾せよ

150分 11.20
返還協定批准阻止

校内でも貫徹!

★ストライキに300名
全人直性をかけつけた学校

見込みあり

仙台一高全学共闘会議

④

ギマン的卒業式を 拒否せよ！！

会高闘評準備委

友諸君、

つぎまことに、世間が激しく流動してゐる、すなはち高度
 成長期、既に価値観が、空想を空論にすぎなからぬ。このこ
 る目己証明しなからぬ。一つの崩れ又ゆへ、高校教育の体
 体においても同様である。故に高らかにうたつたわけ、高
 校教育の三原則、一、統合制、男女共学、小学区制、
 障りまやめるがばあひも、我々高専生は主体性をもち、
 つて自己主要をこころなすてはなく、差別(必要)の必要
 ためには管理(必要)をこころなすてはなりつゝある、このま
 うちながら、我々の卒業式は三年間の総括という意義な
 立場に立つてゐるのである。

現在の教師たちは、高度に近い教育の現状を認め
 それを改めようとするに達し得ないのである。体制内の人同
 と化した教師たちが、その集合体である職員会議等、
 現代の現実に対するはらずがなりのです。それゆへに、
 各学校当局に示さる一方向的卒業式(今年は就学奨励金も
 ただ単に賞状が主)をやめ、試行、祝辞を短くして、その
 趣旨解決し、これを行、現に選辞や答辞はまた我々の表
 の声もはな、選辞のおしきにこぼれ(か)を求め、
 お々の三年間の総括は、我々の責任のうちに選辞して、
 まつては、口つけ、それは、我々の卒業式に選辞して、
 た我々の責任を我々の責任として、我々の責任として、
 だつた三年間の卒業式に、我々の責任として、我々の責任
 我々は高校教育の主体を信託し、ギマン的にかつた卒業式
 を断絶として拒否せねばならぬ。
 学校長諸君、我々と共に闘おうてはならないから！！

産学協同路線粉碎！ 安保粉碎！
 文部省・県教委通達粉碎！！

八月二十九日 宣言 突入 突入 突入

「おらあ、いままで生きて来て、何が一番楽しかったらちゅくて、闘争ぐらい楽しかったことはねえだ」
 この大木よねさんの、三里塚農民の、意識に獲得され、われわれはあのオニオニ決戦に参加した。ただオニオニ塚農民の勝利のために、この一言のみで、農民と共に権力・機動隊との死闘を闘い抜いてきたのだ。その時、一体教師たちは何をしていたのか。宴会でゴマでもすっていたのか、それとも夕食のどんらんにテレビを見ながら「公団を強硬だやあしや」といっていたのか。

今、沖縄人民の命運を決する時、沖縄の人々の血の叫びに必死でこたえようとしている高校生は君たちばかり、処分を下すのか。日常的に高校生に強圧をしておいて、沖縄をかえせ、などと平気で言う。教師よ、君らに沖縄を語る資格などない。君らの権威も、処分と機動隊にぶって守られているのだ。権力から免状をもらい、給料をもらっている教師よ。僕が君たちに、放ちうるのは嘔吐だけだ。

全校生の「処分出すな」の署名を全く無視し、また一切の話し合いを拒否し、総会においては三項目なる制限を加えてこれをのまなければ、総会が開かせられないなどと、生徒会への不当な介入をした等々の事実をこのまま過去のこととして葬り去ることはできない。僕は僕のもちうる最後の武器、すなわち生命をかけて学校当局をたたかう。そして次のことを要求する

- 1、学校長は、学校当局のこの向の態度を、全校生の前で自己批判すること。
- 2、全学斗へ進の可会により大衆団交を開くこと。
- 3、オ一次、オ二次、オ三次、この闘争参加者への一切の処分を白紙撤回すること。

警高全学闘争委員会 ハンスト決行隊員

17

磐女の仲間達に訴えます！

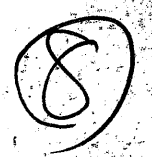
迷ばないで下さい！

あなたの何処なく死したくあからないくカンケイナイ... etc という言葉が、どれほど政治的で犯罪的であるか — 昨日、福島地裁において真に教育を向うところの磐高裁判の判決があり 私たちの学友も傍聴した。そしてそれに対する学校側の弾圧が我々の無意識という意識の中で開始されている。11日の各ホームルーム(特に参加しそうな者のいるクラス)での訓告、12日の異常な欠席者チェック、家庭への電話連絡、そして13日早朝の、傍聴参加が確認された者への家庭訪問等、...。それら種々の弾圧の中で彼女たちの家庭は破壊され、親子は検悪の状態に陥らざるを得なかった。ある父親は会社を辞めるとまで言いだしたのである。また更に学校側は、彼女たちの自己の判断、〈授業〉より〈傍聴〉を有意義と選択したにもかかわらず、それを全く無視し処分を下そうとしているのだ。それこそはまさに、磐高の斗いと融合するものである。磐女という分断された環境の中で、教師は我々を政治的に無態にし、〈傍聴〉という法律的保障された当然の権利さえも奪い去ろうとするのか。私たちは、まだまだ約想的である教師の像を打ち砕き、真に教師を監視し、学友に対しての暴挙を断じて許してはならない。学友へ処分を出させてはいけないのである。

— 磐女有志 —

最も人間的に生きようとする者が
何故、このように非人間的に
扱われなければならないのか?!

17



とらして

統一番号
福高反戦協
協女反戦協
反戦高協
10月17日

高枚と各保協、白布打倒の
高枚生反政治者前、高枚先頭に立つる。

10.16の成果を10.21へ

福女生の見守る中、学内集会以貴徴の

全ての福高生諸君の
全ての福高生諸君の
そして全ての高枚生諸君の
10月16日反戦高協、福高学内反戦
共闘集議を協賛会をばじめとする
先行的高枚生の集議をもつて、福高
学内集議、新築公園への入管系協同
改訂多動禁止物碎の高枚生協賛会
及び高協として附与となり、福高
学内における集議は福高の反戦教
師の協賛を以てのけえ進んで福高に
反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。

10.16の附与は10.21以降反戦隊として高枚
及び反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。

10.16の附与は10.21以降反戦隊として高枚
及び反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。

10.16の附与は10.21以降反戦隊として高枚
及び反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。

10.16の附与は10.21以降反戦隊として高枚
及び反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。

10.16の附与は10.21以降反戦隊として高枚
及び反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。

10.16の附与は10.21以降反戦隊として高枚
及び反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。

10.16の附与は10.21以降反戦隊として高枚
及び反戦の熱をひびかせた。やがて福
高の反戦集議は南校舎が完成され
うとしていく。この集議は福高反戦
隊内反戦集議をより学内同級を断固
として附与し、少数の入管同級の
内口に合流すること。そして福高を
反戦の熱とするならば高枚と宜きで
水、アップして福高反戦集議、高枚生
隊反戦隊、日原反戦高枚生隊より
の連帯のあり、父老表明が行は
れ、福高の集議は進んでいく。



福高に反戦高協